

1. 基本情報

- (1) 国名： グアテマラ共和国（以下、「グアテマラ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名： グアテマラ県及びトトニカパン県
- (3) 三次病院における医療機材整備計画（The Project for the Improvement of Medical Equipment for Tertiary Hospital）

(4) 計画の要約：

本計画は、グアテマラ県及びトトニカパン県の 3 つの三次病院において、医療機材を整備することにより、検査・診断・治療体制の改善を通じて、医療の質の向上を図り、もってグアテマラの貧困地域の社会・経済開発に寄与する。

2. 計画の背景と必要性

(1) 本計画を実施する外交的意義

グアテマラは、自由、民主主義、人権等の基本的価値を共有する重要なパートナーであり、多くの国際選挙等において我が国を支持してきている。また、2023 年 2 月の日・グアテマラ外相会談では、法の支配に基づく国際秩序の維持・強化に向けて、「自由で開かれたインド太平洋」（FOIP）の推進においても緊密に連携していく旨確認するなど、我が国と重要な協力関係にある。2025 年は日・中米交流年及び日・グアテマラ外交関係樹立 90 周年となり、この節目に向けて本計画を案件化することで、同国における我が国のプレゼンス・親日感情を一層高め、二国間関係強化に資することが期待されることから、本計画の外交的意義は高い。

(2) 当該国における保健セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

グアテマラにおける医療保健体制は中南米地域の中でも脆弱であり、特に妊産婦死亡率で 95 人（対 10 万出生）、5 歳未満時死亡率で 23 人（対千出生）と、それぞれと周辺国と比して高い数値を記録している。また、最近では、循環器系疾患、糖尿病や慢性腎臓病による死亡も 2009 年からの 10 年間で約 5 割増加しており、グアテマラでは、母子保健に加え、非感染性疾患（NCDs）も取り組むべき重大な課題であり、複雑化する疾病構造の中で中核病院の役割は大きくなっている。

本計画で支援予定のサン・ファン・デ・ディオス病院とサン・ビセンテ病院は、グアテマラ市にある国立の拠点病院であり、グアテマラ全国から重症患者が集中し、医療サービスにおいて中核的な機能を担っているが、多くの患者が検査や手術待ちとなることが恒常化しており、検査・治療を含む適切な医療サービスの提供が困難となっている。また、トトニカパン県内唯一の国立の拠点病院であるトトニカパン病院はハイリスク妊産婦の受入先となっているものの、医療機材の不足により検査等適切な保健サービスの提供が難しい。

本計画は、拠点病院である国立 3 病院の検査部門等へ機材を整備することにより、当該病院の検査・診断・治療体制の改善を図り、重篤患者が搬送され、外来・緊急患

者を受け入れることのできる三次医療機関としての医療の質の向上に寄与するものである。トトニカパン県内においては技術協力「プライマリ・ヘルスケアを通じた母子栄養改善プロジェクト」を実施中であり、同プロジェクトの支援対象地域にあるトトニカパン病院へ機材を供与することにより、ハード・ソフト両面での支援により相乗効果が見込まれる。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：

サン・ファン・デ・ディオス病院：手術用顕微鏡等の手術関連機材、MRI 等の画像診断関連機材等。

サン・ビセンテ病院：内視鏡検査関連機材、CT や X 線等の画像診断関連機材、腹腔鏡システム等の手術関連機材、顕微鏡等の検体検査機材等。

トトニカパン病院：内視鏡検査関連機材、呼吸器診療関連機材、婦人科部門・産科・新生児部門関連機材、X 線装置等の ICU 関連機材、マンモグラフィや超音波装置等の画像診断関連機材等。

イ) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネント

詳細設計、入札補助、調達監理、設置される医療機材の保守管理、経営管理を想定する。

② 期待される開発効果

X 線検査数（サン・ビセンテ病院）：約 2,600 件（基準値）⇒約 6,500 件（目標値）、外科手術数（トトニカパン病院）：約 3,300 件（基準値）⇒約 4,500 件（目標値）により、対象病院の診断、検査、治療体制の強化への貢献が期待される。また、医療サービスの向上と対象サイト住民の健康増進も期待される。

③ 計画実施機関／実施体制：保健社会保障省（Ministerio de Salud Pública y Asistencia Social）

④ 他機関との連携・役割分担：協力準備調査にて確認する。

⑤ 運営／維持管理体制：整備される医療機材は、案件サイトである 3 病院が使用、維持管理は代理店等によるメンテナンスを含め、保健社会保障省が責任をもって行うことを想定している。

(2) その他特記事項

- グアテマラの所得水準は相対的に高いことから、「所得水準が相対的に高い国に対する無償資金協力の効果的な活用について」に基づき、無償資金協力の供与の適否について精査が必要である。同国は、低中所得国に分類されるが、国内の貧困率及び貧困の地域差・民族間格差が依然として大きく、人間開発指数(2022)は 191 ヶ国中 135 位と低い。特に近年では、新型コロナウイルス感染症への対応に加え、疾病構造が複雑化し、高血圧に起因する心臓・脳の循環器系疾患、糖尿病や慢性腎臓病による死亡は、2009 年からの 10 年間で約 5 割も増加しており、非感染性疾患への対策が急務となっている（「人道上のニーズ」）。また、コロナ禍による国

内産業の衰退、ロシアのウクライナ侵攻による世界的な穀物の価格高騰等により国内財政が圧迫されていることから、円借款の実施は困難な状況にある（「経済的脆弱性」）。よって、本事業は、上記の観点を満たすものであり、無償資金協力の供与が適当と判断できる。

- 環境社会配慮カテゴリ分類：C
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

- 対グアテマラ無償資金協力「首都圏主要国立病院整備計画」の事後評価結果（評価年度 2011 年度）では、医療資機材の備品目録、維持管理のための十分な予算の継続的配置、サン・ファン・デ・ディオス病院の排水処理等に問題があると指摘されているため、本事業の運営維持管理の計画と継続的な予算配置と機材設置について適切な対策が十分にとらえているかを考慮し、案件形成を行う。

以 上

[別添資料] 三次病院における医療機材整備計画 地図

[別添資料] 三次病院における医療機材整備計画 写真

[別添資料] 三次病院における医療機材整備計画 地図



出典：Google Maps（地図データ©2023 INEGI、Google）より JICA 作成

[別添資料] 三次病院における医療機材整備計画 写真



手術用顕微鏡（2010年）
（サン・ファン・デ・ディオス病院）



手術用无影灯（2012年）
（サン・ファン・デ・ディオス病院）



手術台（2009年）
（サン・ビセンテ病院）



胸腔鏡手術システム（2009年）
（サン・ビセンテ病院）



一般撮影X線診断装置（2005年）
（トトニカパン病院）



手術台（2002年）
（トトニカパン病院）

出典：JICA